学校番号	２０８

平成 31 年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅲでは既習の書道Ⅰ・Ⅱをさらに深め、自らの興味・関心に基づき、学習する古典をいくつか選択します。選択した古典の書風や用筆法・運筆法などの特徴を把握するとともに、古典の時代性や精神性についても理解を深めます。
・用具・用材の準備や管理、作品、作品集の提出これらに留意してください。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート 作品集	観察 ワークシート 作品集 作品提出	観察 ワークシート 作品集 作品提出	観察 ワークシート 作品集 作品提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書の美と文化	【行草書】三筆・三跡 【隷書】礼器碑、木簡 【楷書】出師表・薦季直表 ・漢字作品卒業制作 ①半切　古典臨書 ②半切　創作 ・表具	○	○	○	○	a：法帖や造像記、石碑など、様々な古典の個性的な美しさや様式美に関心を持ち、主体的に自ら選択した古典に取り組もうとしている。 b：主体的に構想を具体化し、書風や線質、全体の構成などを工夫している。 c：様々な古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d：様々な古典の個性的な美しさや様式美、表現技法を理解している。またお互いの作品の批評をすることができる。	観察 ワークシート 作品集 作品提出
2学期	仮名の書の美と文化	・秋萩帖 ・本阿弥切本古今和歌集 ・針切 ・創作 ・仮名作品卒業制作 ①俳句 ②百人一首 ・表具	○	○	○	○	a：仮名古筆の書美に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組もうとしている。 b：主体的に構想を具体化し、書風や線質、全体の構成などを工夫している。 c：仮名の用筆や線質などの特徴を理解し、書風を生かした表現をすることができる。 d：古筆の書美とその表現方法を理解している。	観察 ワークシート 作品集 作品提出
	漢字仮名交じり書の美と文化	・漢字の各書体に調和する仮名の工夫 ・粗密が描く紙面の均衡 ・響き合う行と余白 ・流れと躍動する書線 ・自分自身の表現を求めて ・思いと言葉をつむぐ書 ・近現代のさまざまな試み ・未来を彩る ・古典を基に卒業制作	○	○	○	○	a：様々な作品の様式美や作者の精神性、美意識を理解しようとしている。 b：ことばと情景と表現の関係を考え、書風や線質、全体の構成など、創造的な表現を工夫している。 c：ことばと情景と表現の関係を考え、書風や線質、全体の構成を工夫することができる。 d：漢字仮名交じりの書の名筆を味わい、ことばの情景を創造する表現技法を理解している	観察 ワークシート 作品集 作品提出

3学期	生活の中の書	・年賀状・表彰状（小筆） ・表札（刻字） ・蔵書印（篆刻）	○	○	○	○	a：書写の基礎的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b：書道で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c：書道で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。 d：日常生活の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。	観察 作品集 作品提出

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
　　c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。